

京都産業大学 ギャラリー主催公演

第五回 天台聲明の調べ

■ 演目／大般若転読会習礼風景

■ 出演／京都魚山聲明研究会

■ 日時／平成28年10月19日(水)

13時30分開場 14時開演 15時20分終演予定

■ 会場／京都産業大学壬生校地 むすびわざ館2階ホール
京都市下京区中堂寺命婦町1-10

■ 定員／350名

《申込不要・先着順》

当日、直接会場受付までお越しください。

定員になり次第ご入場をお断りすることがございます。

あらかじめご了承ください。

入場無料

法要次第

総 回 向	祈 願	宝 号	本 尊 真 言	法 楽	諸 天 讃	結 願 作 法	転 読	法 則	諸 天 讃	対 揚	散 華	着 座 讃	列 讃	挨拶・解説
-------------	--------	--------	------------------	--------	-------------	------------------	--------	--------	-------------	--------	--------	-------------	--------	-------

だい はん にゃてん どく え しゅうらい ふう けい
—「大般若転読会習礼風景」について—

大般若転読会法要は、大般若波羅蜜多經六百卷を転読する法要で、大般若經会または般若会ともいいます。660年正月に、玄奘三蔵が翻訳をはじめ、663年10月に完成したとき、慶賀のために齋会を設けて供養し講読したのが始まりといわれています。当初、この經典は鎮護国家・除災招福の為に修せられるようになりました。

日本では40年後の703年『続日本紀』第三・文武天皇の条に、「四大寺に詔して大般若を読ましめ一百人を度す」とあり、708年には「大般若会」が恒例となり、725年正月には聖武天皇が除災招福の為、僧六百名を請じて宮中に於いて大般若会読誦会を行いました。その後、808年平城天皇のときには、鎮護国家・除災招福の為に諸大寺畿内七道諸国に転読を命じ、全国の寺々で修せられるようになりました。

本来は、100乃至600名の僧侶が一人あたり六巻または一巻を読誦するのが本儀ですが、略儀として現行のように転読が行われるようになりました。転読するときの作法は宗派で異なりますが、転読文「諸法皆是因縁生。因縁生故無自性。無自性故無去来。無去来故無所得。無所得故畢竟空。畢竟空故是名般若波羅密。南無一切三宝。無量广大。発阿耨多羅三藐三菩提。降伏一切大魔最勝成就」を大きな声で唱えながら折本の経本を左から右へと大きく転読させ、一巻ごとに經典の功德によって一切の大魔を降伏するように祈願して経本を箱に打ち付けます。

お唱えする声明は、四智讃梵語・四智讃漢語・唄・散華・対揚・諸天讃・法則・転読・理趣分読誦作法・結願作法・諸天讃等です。

大般若転読会で皆さまの除災招福を心よりご祈念いたします。

合掌

京都魚山聲明研究会

出演者一覧

僧衆・京都魚山聲明研究会

龍雲寺住職

／ 本多

実信

松林院住職

／ 須川

實洽

歡喜院住職

／ 信楽

香爾

法輪院住職

／ 本郷

泉観

戒光院住職

／ 高山

良彦

池上院住職

／ 穴穂

行仁

東陽院住職

／ 齋藤

良成

龍雲寺副住職

／ 本多

寂信

方廣寺副住職

／ 木ノ下

寂優

本山寺法嗣

／ 清田

寂深

二尊院法嗣

／ 羽生田

光昭